

# LED ZEPPELIN

# GOOD TIMES BAD TIMES

グッド・タイムズ・バッド・タイムズ  
by Jimmy Page/John Paul Jones/John Bonham  
© 1969 SUPERHYPE PUBLISHING INC.  
Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC.  
Authorized for sale only in Japan.

## ■この曲のポイント

### GUITAR

全体を通して、コード弾きのバックキング・パターンがメインだが、アルペジオとのコンビネーションやグリス、プリングなどを使って、動きのあるバックキング・リフが展開されている。また、ソロ・パートやフィル・インでは、ブルース・フィーリングを十分に活かしたペンタトニック・フレーズによってプレイされている。

### BASS

ギターのバックキングに合わせたルート音中心のシンプルなプレイだが、経過音多用して流れのあるラインを形成している。ひとつつ

とつの音を大切にしたスムーズな流れを作るように心がけよう。また、ギターとのユニゾン部分ではタイミングを合わせるようにし、シンコペーション部分では、スピーディなフレージングを行おう。

### DRUMS

ドラミング全体が変則的になっているので、叩き切るには相当のテクニックが必要だ。特に、バスドラとスネアの位置に特徴があるので、タイミングを外さないように注意すること。また、バスドラの細かい動きには相当のキック力があるので、十分に練習を積んでもらいたい。ひたすら、クリアでタイトに迫ろう。

Intro. E

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

c=Cowbell

①(Dr.): 音数が少ないので、リズム・キープは確実に行いたい。ハイハットはダブル・ペダルになっている。カウベルのアクセントや6連の細かいフィルのタイミングに注意。

E E D A E

Vo. In the days of my youth I was told what it means to be a man

Gt.-I ②

Gt.-II

Ba ③

Dr. ① ④

D A E D A E

Vo. Now I've reached the age I've tried to do all those things the best I can

Gt.-I

Gt.-II

Ba

Dr.

②(Gt.): この曲のメインになるバックギング・パターン。コード弾きのグリと滑らかなアルペジオのコンビネーションが太切だ。

③(Ba.): ギターとユニソンのバックギング・リフ。1オクターブ間の動きのあるアルペジオは、スムーズに弾きこなそう。

④(Dr.): シンバル・アクセントやスネアの位置、そして細かいバスドラなど、すべてが変則的なリズムでプレイされているので、タイミングには充分に気を配ること。

Chords: D A E D A E

Vo. No mat-ter how I try I find my way to the same old jam

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

Chords: D A A G D A G D

Vo. Good Times Bad Times you know I've had my share When my

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

④(Gt.) : グリスを使って、コード・プレイにアクセントをつけている。左手の素早い動きがポイントだ。



Chorus 1

Vo. F# B F# B F# B F B

swore that she would be all mine and love me till the end But when I whis-pered in her ear I lost an-oth-er friend Oh

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

Chorus 2

Vo. D B A B B A E C# B F#

Good times Bad Times you know I've had my share When my wom-an left home with a brown-eyed man well

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

⑦(Gt.): 16分のカッティングは、歯切れよくプレイしよう。そして、使用しない弦は、左手でミュートしておくこと。

⑧(Dr.): バスドラの16分のシンコペーションは、タイミングに注意。リズムの刻みは、シンバル・アクセントが多用されている。

C# E D A

Vc. still don't seem to care

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

cho. cho. cho. C.D. p.

cho. cho. cho. C.D. p.

8

9

E D A E D A B D A

Vc.

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

cho. C.D. p. 8va cho. C.D. cho. - (8va)

cho. C.D. p. cho. C.D. cho.

9

⑨(Gt.): チョーキングを使ったジミー・ペイジの得意ワザ。アクセントの位置がズレていくので、タイミングに注意しよう。

E D A E D A E D A

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

# Coda

E D A

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

D.S.

B F E

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Ba.

Dr.

⑩(Gt.): これもジミーの得意なフレーズだ。ペンタトニック・スケールを使った上昇フレーズ。6連のリズムが乱れないように、しっかりとビッキングすること。

⑪(Ba.): ユニークなフィル・インだ。アクセントの位置のズレに気をつけよう。



